

## 平成 24 年度岡山大学社会文化科学研究科博士前期課程【9 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論講座
専門科目 1	言語学

次の I~V の中から 4 問 を選んで解答しなさい。【解答は全て解答用紙に記入すること】

I)

ア) 次の基本母音それぞれに示された 3 つの調音的特徴のうち、< > に入るものを答えなさい (日本語, 英語どちらで答えてもよい)。

例) [i]: < >, 前舌(front), 狭(close) 答: 非円唇 (あるいは unrounded)

① [ɔ]: 円唇 (rounded), 後舌(back), < >

② [ø]: < >, 前舌(front), 半狭(close-mid)

③ [ʊ]: 非円唇 (unrounded), 後舌(back), < >

④ [i]: 非円唇 (unrounded), < >, 狭(close)

⑤ [y]: < >, 前舌(front), 狭(close)

イ) 次の音声記号 (I.P.A.による) のそれぞれに示された 3 つの調音的特徴のうち、< > に入るものを答えなさい (日本語, 英語どちらで答えてもよい)。

例) [p]: < >, 両唇(bilabial), 破裂音(plosive)

答: 無声 (あるいは voiceless)

① [s]: 無声(voiceless), 歯茎(alveolar), < >

② [ŋ]: 有声(voiced), < >, 鼻音(nasal)

③ [g]: < >, 軟口蓋(velar), 破裂音(plosive)

④ [f]: 無声(voiceless), < >, 摩擦音(fricative)

⑤ [l]: 有声(voiced), 歯茎(alveolar), < >

ウ) 次の言語データを見て下の設問に答えなさい。

kin(誰), qadi(どれ), aqun(~だけ), kerge(家族), køde(人), ølke(走り回る),

qude(どのように), pareqod(汽船), ikiwi(脅す), elqaqun(いくらか),

設問: このデータのみで見た場合, k と q は同一音素に属する異音とみられる。異音が生じる音声環境を述べ, その調音的理由も説明しなさい。

平成 24 年度岡山大学社会文化科学研究科博士前期課程【9 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論講座
専門科目 1	言語学

II)

次の動詞の形について以下の問いに答えなさい。

単数

複数

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. ñeok “speaks”        | 1. ñeñeok “we/you/they speak”          |
| 2. him “walks”          | 2. hihim “we/you/they walk”            |
| 3. dagkon “wipes”       | 3. dadagkon “we/you/they wipe”         |
| 4. helwuin “is sliding” | 4. hehelwuin “we/you/they are sliding” |
| 5. ’ul “sticks out”     | 5. ’u’ul “we/you/they stick out”       |

ア) 複数形はどのように作られるか書きなさい。

イ) 上記の形態法を言語学の用語では何というか書きなさい。

III) 日本語で、「山田先生が花子を自分の部屋で教えた」という文は多義的 (ambiguous) ではないが、「山田先生が花子を自分の部屋で勉強させた」という文は多義的である。それぞれの文の解釈と、この多義性の違いが何に起因するかについて述べなさい。

IV) 次の用語の中から 3 つを選び、具体例を挙げながら説明しなさい。

能格言語(ergative language), 曲用(declension), クレオール(creole), 再建(reconstruction), ラングとパロール(langue and parole), 交話的機能(phatic function), 使役(causative), 否定のスコープ(negative scope), アルタイ諸語(Altaic languages)

V) 非標準的な日本語の「ぜんぜんおもしろかった」を文法的小よび語用論的に説明しなさい。